

## 第 78 回破壊靱性検討会 議事録

1. 日 時:平成 30 年 1 月 26 日(金) 13:30~16:00

2. 場 所:航空会館 501 会議室

3. 出席者(順不同, 敬称略)

○出席委員

平野主査(IHI), 廣田副主査(MHI), 秋山(四国電力), 伊藤(中部電力),  
大厩(関西電力), 勝山(JAEA), 高本(MHPS), 辻(富士電機),  
蓮沼(電源開発), 長谷川(発電技検), 折田(東京電力 HD),  
新川(東芝エネルギーシステムズ)中川<sub>(純)</sub>(中国電力), 山崎(JANSI) (計 14 名)

○代理出席者

山本<sub>(真)</sub>(電中研 曾根田代理)小島(日立 GE 廣川代理)  
宮代(NFD・橋内委員<sub>[廣田]</sub>代理)  
山本<sub>(聡)</sub>(九州電力・野崎委員代理), 名越(MHI 堤代理) (計 5 名)

○常時参加者

神長(東京電力 HD), 佐伯(東芝エネルギーシステムズ) (計 2 名)

○欠席委員

田川(JFE), 浦木(関西電力),  
相澤(日本製鋼所), 中川<sub>(健)</sub>(日本原電), (計 3 名)

○オブザーバ

板谷(東芝エネルギーシステムズ), 佐藤(IHI) (計 2 名)

○事務局; 飯田(日本電気協会) (計 1 名)

4. 配付資料

資料 78-1 委員名簿

資料 78-2 第 77 回破壊靱性検討会 議事録(案)

資料 78-3 「確率論的破壊力学に基づく原子炉圧力容器の破損頻度の算出要領」構造分科会意見に対する回答

資料 78-4 JEAG4640 確率論的破壊力学に基づく原子炉圧力容器の破損頻度の算出要領

5. 議 事

(1) 代理出席者の承認, 会議定足数の確認, 配付資料の確認

事務局より代理出席者及びオブザーバの紹介があり, 主査の承認を得た。出席委員数は代理出席者を含めて, 検討会決議に必要な条件(委員総数(23 名)の 3 分の 2 以上の出席)を満たしていることが確認された。また, 配付資料の確認があった。

(2) 前回検討会議事録(案)の確認

事務局より資料 78-2 に基づき, 前回破壊靱性検討会の議事録(案)の説明があり, 一部誤植を訂正することで承認された。

(3) 確率論的破壊力学に基づく原子炉圧力容器の破損頻度の算出要領 構造分科会意見対応について

構造分科会ご意見への回答及び指針修正案について、検討の結果、資料を一部修正し、委員の確認を得た上で、構造分科会へ上程することとなった。

1) 指針案改定版の確認

副主査より、資料 78-3 に基づき、前回検討会のコメントを受け、PFM WG で検討した指針案の修正版について説明があった。

(主な検討、意見、コメントは以下のとおり)

○「要領」という表記について

- ・規格委員会に上程したとき、「指針」だから変更しろとの指摘を受けるかもしれない  
→その場合、変更しても良いかもしれない。

○全体的な表記について

- ・全体的に表記の統一性が取れていないのではないか？カッコの全角・半角、ゴシックの表記箇所など。  
→確認し訂正する。

○No.17 について

- ・各亀裂とは一つの亀裂のことであり、各亀裂で複数の亀裂という考えではない。  
→表現に関しては、「各亀裂の各過渡事象に対する」の記載を削除し、文章が繋がるように修正する。

○No.23 について

- ・「亀裂進展」を定義すると、亀裂が進展を開始することと、亀裂進展開始後の亀裂の進展と混同する恐れがある。  
→用語の定義で「(以下○○と言う)」の記載は削除する。

(4) その他

- 1) 構造分科会は 2 月 21 日で事前説明は 2 月 8 日にある。  
それまでに今回のコメントを反映し委員に周知後、説明を行う。
- 2) 次回破壊靱性検討会:2018 年 4 月 25 日(水)13:30～

以 上